

## 新しい公共とNPO活動、 その土木分野における意味

高知工科大学 渡邊法美

## 自己紹介 #1

氏名 : 渡邊法美(つねみ)  
年齢 : 50歳  
出身地 : 北海道札幌市  
趣味 : カラオケ, プリウス運転,  
囲碁, (バドミントン)



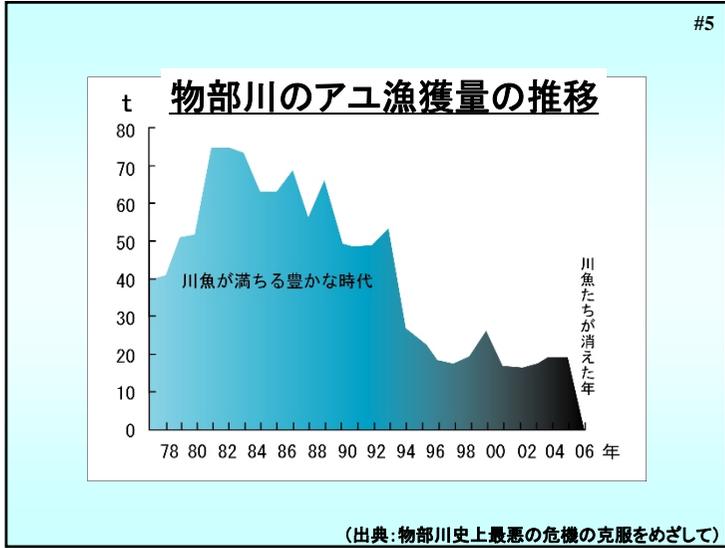
## 皆さまの今回のPD出席の動機は

1. 自分の経験・知識を活かして、NPO・市民活動を行う方法をもっと知りたい。
2. 新しいビジネスの可能性を図るために、NPO・市民活動を覗いてみたい。
3. 新しい公共を創るNPOをもっと知りたい。
4. 学生時代もやっていた。社会人でもやりたい。
5. なんとなく
6. その他

## 自己紹介 #2

- ・物部川21世紀森と水の会:   
天然アユの湧き立つ物部川の復活(高知県)
- ・地質リスク学会:  
リスク計量化  
リスクマネジメントプロセス  
地質技術顧問
- ・建マ委委員会NPO小委員会(2002-2004)
- ・四国EPO事業評価委員会
- ・NPO論、地域共生概論、コミュニケーション特論





農家 寺内さま、JA土佐香美 藤本さま、近藤さま #9



高知県 前物部川の明日を考えるチーム 山崎さま #10



奥ものべを楽しむ会 公文さま #11



#12



ネット張りによる  
植生回復

#13

## 私にとっての市民活動・NPO

- ・「ひとりのこまった」を  
「みんなのこまった」、  
「みんなのうれしい」に
- ・活私開公
- ・公私共媒
- ・「市民のために」ではなく  
「市民とともに」
- ・生命エネルギーの発露



#14

## 事例1

- ・岩神さん(元物部川漁協組合長)  
アユが釣れると電話の音が弾む(アユ吉)
- ・物部川21世紀森と水の会:  
自分の問題(天然アユを復活させたい)を  
みんなの問題に  
市民、JA、発電会社が参画
- ・県庁も参画  
物部川明日を考えるチーム  
物部川清流保全計画 & 推進協議会

#15

## 事例2

- ・佐橋さん((株)建設技術研究所)
- ・地質調査妥当投資額  
地質リスクマネジメント  
地質技術顧問  
「自分のこまった」を「みんなのうれしい」に
- ・地質リスク学会  
事例研究
- ・多様な主体との連携

強い信念、継続する力

#16

## 課題・問題の一例 行政との協働

行政とNPOとの「対立」  
⇒既存の「公」と新しい「公」の対立

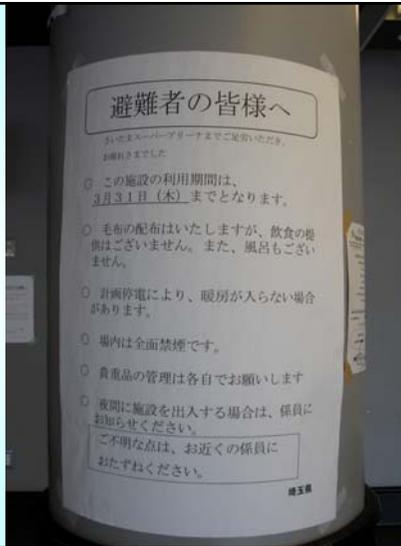
分野と速度

活私開公を目指すNPOの宿命

## 行政の公の一例

埼玉県が福島県からの  
避難者に対して  
さいたまスーパーアリーナ  
入口に掲示したお知らせ

皆さんなら、どんな掲示  
を出しますか



## NPOの公の一例

#18

赤ちゃんの泣き声  
生きてる声だね。  
みんな  
その声をうれしく思おうよ。

## 活動が低調な一因:4つの壁

#19

- ・**制度の壁**:業務の中で、自身の経験・知恵(例:元「川がき」)を活かせる場が少ない
- ・**時間の壁**:地域とのコミュニケーションが少ない、業務の中でコミュニケーション限定
- ・**組織の壁**:私的時間での活動でも業務に差し支えとのまなざし?
- ・**情報の壁**:どんな活動が行われているか知らない

⇒現役時代にシステム社会(自分は取替可能)での生活に馴染んでしまう

## 現場土木技術者の強み

#20

現場に自ら入って、問題を解決  
「無限の」苦情への対応  
ソーシャルマーケティングの最前線

#21

## 官の強み

- ・法律の柔軟な解釈のノウハウを持つ  
湯布院の事例→新しい公の創出
- ・枠組みが決まると、圧倒的な力を発揮  
高知県物部川の明日を考えるチーム

#22

## ささやかな経験からの一提案#1 制度設計

- ・持続可能性を問い、  
それを実現できる制度を創ること  
(先住民族:お金は問わないけれど、  
7世代先の世界の幸せまで考える)  
例:治水、利水+(おまけの)環境  
→治水、利水、環境

#23

## ささやかな経験からの一提案#2 地域での作法

- ・地域に居場所を持つために、  
聴かせて頂くという気持ちを持つこと
- ・「自分にはこんな技術があります」では不十分  
マーケティング:聴かせて頂いている内に、自分が  
貢献できる分野(新しい公)が見えてくるのでは  
イノベーション:新しい公に自分の技術を活かす  
→自らの存在意義

#24

## ささやかな経験からの一提案#3 現役業務の心構え

- ・有意義な仕事を行うこと
- ・真の顧客は誰かを問い続け、顧客を創造すること  
CVMアンケート調査における回答質の向上  
事業評価監視委員会の役割

#25  
ささやかな経験からの一提案#4  
時間が無いと思う現役世代へのメッセージ

NPO・地域活動は、  
未来(自分、家族、社会)への投資  
生命エネルギー発露の場  
新しい自己研鑽の場

#26  
ささやかな経験からの一提案#5  
学会への提案

行政・市民・住民・企業が活動する  
プラットフォームの調査、構築

#27  
おわりに #1

福島第一原子力発電所の事故で、  
福島県双葉町から埼玉県に避難されている女性Tさん

「私たちは流浪の民。何が涙のもとがわからない  
んです。悲しいんだか、情けないんだか。みなさん  
に助けて頂いてありがたいんだか...なんで涙ばかり  
でてくるのか...」

いつ避難所から出て、新しい生活を踏み出すこと  
が出来るといふだろう。いつふるさとに戻ることができ  
るといふだろう。

#28  
「今、望むことは何ですか。」

「一日も早く元通りにして、『流石、日本人技術者』  
と言われるようになって欲しい。」

私たち技術者が頑張ることが、  
Tさんの生きる希望に！

おわりに #2

#29

どんな土木技術者人生を生きるべきか  
自分にとって本当に大事なことは  
どんな仕事を誰とどうすべきか

おわりに #3

#30

土木技術者は、  
常に活私開公の実践者であるべき！

#31

ご清聴ありがとうございました。